八洲電機グループの体制

各種ISO取得をはじめ、多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスが提供できるよう万全の体制を整えております。ISO14001、ISO9001、ISO27001の取得に加え、各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

ISO取得状況

JQA-EM1677

環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。

- **登録事業所：**本社、エンジニアリングセンター、関西支店、中国支店、岡山支店、東北営業所、日立営業所、千葉営業所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所、八洲ファシリティサービス㈱、八洲産機システム㈱、ヤシマコントロールシステムズ㈱、八洲環境エンジニアリング㈱、八洲電子ソリューションズ㈱

JQA-QMA15798

品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。

- **登録事業所：**中国営業部中国産業インフラー課、産業・インフラエンジニアリング部

ISO9001:2015
20001602 QM15

- **登録事業所：**ヤシマコントロールシステムズ㈱、本社、本社工場、小河原工場、関西営業所、関東営業所

JQA-IM0596

情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格であるISO27001を取得しています。

- **登録事業所：**八洲情報システム㈱ソリューション一部、二部

JQA-QM7070

- **登録事業所：**㈱三陽プラント建設

有資格者の状況（八洲電機）

資格者（2019年4月1日現在）

建築士	1級	1名
技術士	電気・電子部門	2名
電気工事施工管理技士	1級 2級	141名 3名
建築施工管理技士	1級 2級	7名 1名
土木施工管理技士	1級 2級	11名 1名
管工事施工管理技士	1級 2級	50名 1名
監理技術者	機械器具設置 電気通信	19名 12名
電気工事士	1種 2種	21名 12名
電気主任技術者	1種 3種	1名 5名
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	14名
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	16名
危険物取扱者	甲種 乙種 丙種	2名 18名 4名
消防設備士	甲種 乙種	4名 3名
建築物環境衛生管理技術者		2名

登録

一級建築士事務所	許可番号	東京都知事登録第61249号
	登録年月日	2016年12月5日

事業許可関連

特定建設業	建設業の種類	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、水道施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可（特-27）第5842号
	許可年月日	2015年12月17日
一般建設業	建設業の種類	消防施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可（般-27）第5842号
	許可年月日	2015年12月17日
電気工事業	通知番号	経済産業大臣み通第22001号
	通知年月日	2010年1月13日
高圧ガス販売事業届	届出番号	東京都知事29環改保高第6508号
	届出年月日	2017年6月20日

（2019年4月1日現在）

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
www.fsc.org

森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。

Waterless Printing. Naturally.

VOC（揮発性有機化合物）などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。

VEGETABLE OIL INK

環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社

〒105-8686　東京都港区新橋三丁目1番1号　法務・CSR本部　TEL: 03-3507-3233 FAX: 03-3507-3999

https://www.yashimadenki.co.jp/

Yashima
Next to your future

社会と環境のために

八洲のCSRレポート 2019

八洲電機株式会社

「地球環境保全」と
「持続可能な社会」への
貢献を通じて、
企業としての社会的責任を
果たしてまいります。

CONTENTS

01 イントロダクション
02 トップメッセージ
03 ビジネスフィールド
05 ビジネススタイル
07 事業概要
09 主要グループ会社紹介
11 事業紹介
11 プラント事業
12 産業・交通事業
14 電子デバイス・コンポーネント事業
15 コーポレート・ガバナンス
17 ダイバーシティ
19 健康経営の取組み
20 環境活動報告
21 2018年度 活動報告
裏表紙 八洲電機グループの体制

当社グループは、経営理念「信・愛・和」のもと、環境配慮型社会に貢献するという経営ビジョンを掲げ、当社のエンジニアリング力を活かし、お客様の様々なニーズに対応した環境、省エネ関連の製品・システム・サービスを提供する事業活動を通じて、「地球環境保全」と「持続可能な社会」の実現に貢献しております。

当社グループの環境活動のメインテーマは、この事業活動を通じて「CO_2排出抑制へ貢献する」ことです。2018年度の「CO_2排出抑制貢献量」は目標値の534,000トンに対して、552,261トンを達成（達成率103%）いたしました。そして、2019年度は、目標値566,000トン（2018年度実績比103%）を掲げ、地球温暖化防止に取組んでまいります。

当社グループは、これからも事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、環境技術分野における研究開発支援、地域美化活動、その他ボランティア活動など、ますます多様化する社会的課題解決に積極的な役割を果たすとともに企業価値の持続的な向上を目指し、高い倫理観と責任感をもって持続可能な社会の構築に向けた活動を推進してまいります。

代表取締役会長兼社長
太田明夫

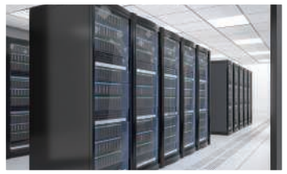
ビジネスフィールド

人々の生活を豊かにする八洲のエンジニアリング力

八洲電機グループでは、『ソリューション・エンジニアリング力』を活かした環境技術・サービスをお客様へ提供し、「地球環境保全」と「持続可能な社会」の実現に貢献しています。

情報システム

お客様の課題解決に対し、独自の情報ソリューションを提供することで、豊かな情報化社会の実現を目指し、「安全・安心」「データ収集」「現場支援」「見える化」を実現する4つの現場IoTを展開しています。
新たなテクノロジーを組合せ、システム構築から運用・保守サポートまで、お客様のニーズにお応えしています。



環境システム

空調システム技術では、住環境への一般空調システム、クリーン・温湿度・圧力制御をベース技術としたバイオハザード対策室等の特殊空調システム、冷蔵庫・冷凍室の低温設備、及び冷熱源設備を提供しています。
また、工場・商業施設・ビル施設への照度・視環境を改善する高効率LED照明設備、空気圧縮機等の工場ユーティリティ設備の導入を推進しています。

Yashima
Next to your future

コア技術

電機制御システム、環境システム、交通システム、情報システム、エネルギーシステムの5つのコア技術で、システム設計･施工管理を行い、お客様の様々なニーズにお応えします。更にコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化･融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

エンジニアリングセンター

本社とエンジニアリングセンター（日暮里）に分散していたエンジニアリング部門を2019年6月に八洲芝公園ビルに集約しました。各技術分野の連携を一層深め、シナジー効果を発揮することによりエンジニアリング力を更に強化してまいります。

電機制御システム

電機制御システムでは、電源設備や水処理設備等のユーティリティーシステムと、PLCやインバーターを用いたシステムを提供しています。
お客様のニーズを引き出し、最適な設備計画を立案し、設計・施工・試運転からメンテナンスまで一貫したソリューションを提供し、お客様の設備の生産性向上や省エネ化に貢献しています。

エネルギーシステム

太陽光発電システムや下水処理場のバイオガス発電システムを提供しています。昨今では落差の少ない水路の水エネルギーを利用したマイクロ水力発電システムも提供しています。
エネルギーシステムでは長年培った電機制御技術を活用し、環境・省エネを通じてお客様の社会貢献を支えています。

交通システム

交通システムでは、運行・電力管理システム、信号・列車制御システム、受変電システムを中心に安全・安定輸送へ貢献する技術を提供しています。また、「環境と人に優しい鉄道システム」をキーワードに、駅構内のLED照明、デジタルサイネージ、IoT技術による人流分析等の信頼性の高いサービスを工事と合わせて総合的に提供しています。

The Power of YASHIMA

八洲電機の強み

コア技術を活用し、当社のエンジニアリング力で、大手企業をはじめとした3,000社を超えるお客様の環境・省エネなどのニーズにお応えし、様々なソリューションを提供しています。また、当社のビジネススタイルであるコーポレートインで、迅速丁寧にお客様をサポートします。

ビジネススタイル

A.1

製品を販売するだけではなく、プレエンジニアリングから、設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを一貫して行い、当社の技術とともにサービスを提供します。

様々な産業のお客様に技術を付加したサービスを提供します。

様々な産業のお客様に技術を付加したサービスを提供

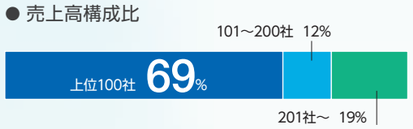
お客様基盤

A.2

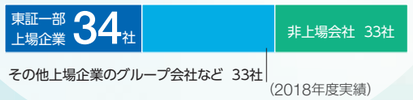
創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と継続的な取引をしております。

鉄鋼、石油、医薬品、紙パルプ、鉄道などの様々な業種、3,000社を超えるお客様と取引をしています。

● 売上高構成比



● お客様上位100社上場区分



(2018年度実績)

コーポレートイン

A.3

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のあらゆるニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

コーポレートイン
専門技術者をお客様の事業所内に常駐させる
お客様密着体制

技術力
- ▶エンジニアリング力
  (提案・システム設計・施工管理)
- ▶幅広いニーズにお応えする技術力

技術営業力
- ▶長期的な取引における信頼関係
- ▶技術部門と融合・連携した密着体制

コア技術

A.4

5つのコア技術で、システム設計・施工管理を行い、お客様の様々なニーズにお応えします。更にコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

コア技術

電機制御システム	環境システム	交通システム	情報システム	エネルギーシステム
最適化を実現するため、設計から行う	ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	鉄道事業のニーズにお応えする	様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	再生可能エネルギーを活用する

技術ソリューション力	それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する
プロジェクトマネジメント力	案件ごとに取りまとめを行う
総合エンジニアリング力	設計・調達・工事などを連携させ提供する
アライアンス構築力	日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する

事業概要

プラント事業

鉄鋼・石油・エネルギーなどのプラント分野に最先端技術で貢献

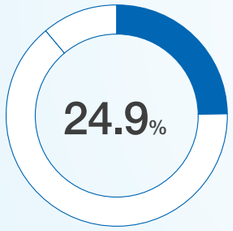
事業内容

省エネ化、高効率化、老朽化に伴う設備管理の充実といったニーズに、最先端機器と八洲ソリューション技術を組合わせたシステムを提供しています。

主要取扱製品

鉄鋼システム、自家用発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電機制御、生産管理システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

売上高構成比(2019年3月期)



売上高
17,407百万円

CLOSE UP !

プラント事業では、鉄鋼・石油・ガスなどの素材・エネルギー産業に対し、エンジニアリング力を発揮して、最新の技術を複合したシステム提案により、常に付加価値の高いソリューションを提供します。電機制御システム等のコア技術により、お客様の生産現場のニーズにフレキシブルに対応し、省エネルギーや生産性の向上に貢献します。
また、情報IT関連のシステム構築により、監視制御、予兆診断、入構管理等の生産現場のIoTに対し積極的に提案し、安心・安全を実現します。

石油業界のお客様の製造ライン
(イメージ)

産業・交通事業

化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道などの幅広い業界に貢献

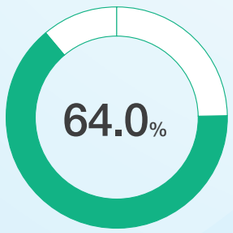
事業内容

産業分野では空調・冷熱・圧縮機などの環境制御、省エネに配慮した照明やITソリューションなどを提供し、鉄道分野ではインフラの整備・構築を手掛け、安全・安心な社会に貢献しています。

主要取扱製品

空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、車両及び車両電気品、駅設備関連システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

売上高構成比(2019年3月期)



売上高
44,720百万円

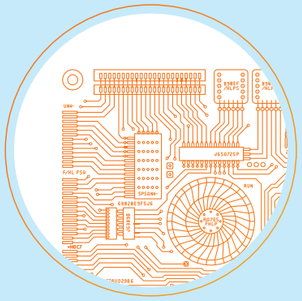
CLOSE UP !

鉄道分野においては、高度化、インバウンド増加等、多様化するニーズに対応すべくソリューションを提供しており、環境に優しい車両省電力制御装置、車両、駅構内のデジタルサイネージ多言語化対応、安心・安定輸送に貢献する運行管理システム等の提供をしております。また、機器の提供だけではなく変電所や工場設備の設計、施工、予防保全まで一貫したエンジニアリング技術で環境負荷の低減に取組んでおります。

東武鉄道株式会社様
「SL大樹」

電子デバイス・コンポーネント事業

先端技術を駆使したソリューションを提供し社会に貢献



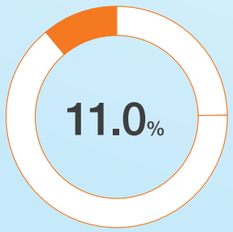
事業内容

産業界での本格的なAI・IoT化が進んでいるなか、お客様の多様なご要望にお応えするため、取扱商品(海外製汎用半導体、表示デバイス等)の拡充を図るとともに、お客様・パートナー企業と技術力を融合することで、最適なソリューションを提供いたします。

主要取扱製品

マイコン、アナログ半導体、メモリ、IGBT、液晶モジュール、モニター、電池、センサ、FAネットワーク用通信モジュール、産業用組込みボード、ソフト受託開発など

売上高構成比(2019年3月期)



売上高
7,700百万円

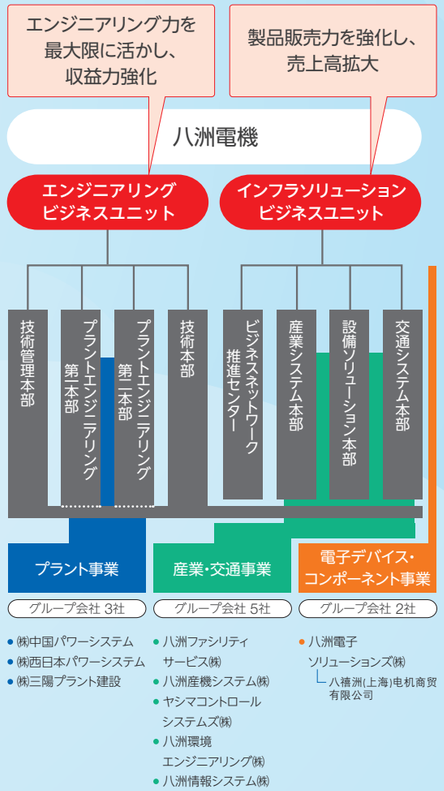
CLOSE UP !

製造現場における生産性の効率化、安全確保、品質向上にIoT技術の導入が盛んななか、ルネサスエレクトロニクス㈱様のAI技術を活用し、現場監視におけるセンシングソリューション及びセンサーモジュールを提案しています。設計から量産まで、製造現場のニーズに合わせてAI・IoT技術でソリューションを提供いたします。

組込みAIのイメージ

【セグメント変更】　2019年3月期より、セグメント区分の見直しを行い、従来の「産業システム事業」と「社会インフラ事業」を統合し、「産業・交通事業」に変更しました。

ビジネスユニットの概要



ビジネスユニット体制

重点施策である「ソリューション・エンジニアリング力の強化」を推進し、事業領域の相互連携強化と競争力の向上を図るため、組織・事業体制を改編し、ビジネスユニット制組織を導入しました。

- 「エンジニアリングビジネスユニット」では、技術営業一体のプラントエンジニアリング事業を推進し、エンジニアリング力を最大限に活かし収益力強化を目指します。
- 「インフラソリューションビジネスユニット」では、エンジニアリング案件の対応を行うと同時に、事業間の密接な連携を図り、製品販売力を強化することで売上高の拡大を目指します。また、ビジネスネットワーク推進センターによる、顧客・製品・ビジネス情報の横展開強化と、事業本部間連携を更に推進してまいります。

主要グループ会社紹介

八洲ファシリティサービス株式会社
（4/1付 社名変更、旧㈱ヤシマ・エコ・システム）

八洲ファシリティサービス㈱は更なる事業拡大・発展に向け、2019年4月1日付で同社名に変更しました。これを契機に、お客様の大切なビル及び工場設備である空調・冷凍機器並びに産業機器（コンプレッサー、クレーン、ポンプ他）の修理・保守・整備、最適なソリューション提案、そしてリニューアル工事までをトータル的に担うサービス会社として、これら設備機器の修理、整備、検査・試験、技術研修の拠点である「サービス&ラボステーション」を有効活用しながら、お客様の様々な省エネ・省力化ニーズにお応えすべく更なる高品質で付加価値の高いサービスを提供いたします。

パッケージエアコン（空調機器）

空気圧縮機（エアー供給機器）

八洲産機システム株式会社

八洲産機システム㈱は、市場の変化に対応した産機製品・サービス事業をより進化させ、環境配慮型社会へ貢献しております。

また、㈱日立産機システム様の特約店として、主にドライブシステム・空圧システム・受配電システムをはじめとする各種産業電機機器システムの販売から、IoTを活用した既設納入品のサービスや保守点検を行い、省エネ・リニューアル提案に加え、環境、省人・自動化のニーズに対し、お客様視点でフルサポートを実現いたします。

産業電機機器製品

ヤシマコントロールシステムズ株式会社

ヤシマコントロールシステムズ㈱は制御盤の設計・製造及び販売・メンテナンスを通して社会に貢献し、業歴45年目になりました。

「設計」「製缶」「組立」「検査」の一貫生産体制を強みに、長年培ってきた「高度な電気、計装技術」を通じ、お客様の多岐にわたるニーズにお応えし、より付加価値のある制御盤を提供できる企業を目指しております。

八洲電機グループ唯一のメーカーとして安全遵守と品質管理に努めるとともに、創業時からの「信頼（CS）と技術に生きる」という顧客第一主義の方針に沿ったより良いサービスを提供し、技術者集団として信頼強化に努めてまいります。

八洲環境エンジニアリング株式会社

八洲環境エンジニアリング㈱は、空調・給排水衛生設備工事事業を主体として設立2年目を迎えました。

八洲電機㈱が長年培ってきた「高い技術力」を引き継ぎ、スーパーケミカルクリーンルームやバイオクリーンルーム等の「特殊空調設備」、多様な試験分野で必要とされる「環境試験設備」、流通業界や食品工場等に納める「冷凍・冷蔵設備」等のシステムを提供し、環境配慮型社会の構築に貢献いたします。

2019年4月には、東京本社と西日本支店に加え、新たに大阪に関西営業所を開設いたしました。お客様に心から満足していただける様に、全社員が一丸となって、更なるトータルソリューションを進めてまいります。

特殊空調設備
スーパーケミカルクリーンルーム

Yashima
Next to your future

グループ会社とともに最適なソリューションを提供いたします

八洲情報システム株式会社

八洲情報システム㈱は、2019年4月に八洲電機㈱の情報・通信システム事業が独立し誕生いたしました。

当社は、各種設備からの情報を収集する監視制御システムやドローンを利用した点検システム、カメラやセンサーを活用したセキュリティシステム、列車運行情報をリアルに配信するデジタルサイネージ、駅の改札情報を画像配信するサービスなどを中心に、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）を活用したICTソリューションをお客様に提供いたします。

八洲電子ソリューションズ株式会社

八洲電子ソリューションズ㈱は、幅広い分野に半導体、電子部品、電池、センサー等を供給するサプライヤーとして社会の発展に貢献しています。電子デバイスの供給にとどまらず、基板実装の受託やルネサスエレクトロニクス㈱様製マイコンとキットでソフトウェア受託開発などの多様なソリューションを提供しています。

5G実用化目前に産業界のAI・IoT技術活用が進むなか、当社の技術とパートナー企業の技術力を融合してソリューション力を高め、お客様の飛躍に寄与できる価値を提供し続けてまいります。

株式会社中国パワーシステム

㈱中国パワーシステムは、1988年2月の創業以来、中国電力㈱様及びそのグループ各社様に、火力、水力発電設備・受変電設備機器の販売及びサービスを展開しております。メーカーと一体となった営業活動を通じて、中国電力㈱様の経済的で安定的な電力事業に貢献しています。

電力事業が大きな変革期を迎えているなか、新規事業、新分野等に対して八洲電機グループと連携を図り、取組んでまいります。

株式会社西日本パワーシステム

㈱西日本パワーシステムは、2019年4月に営業を開始いたしました。九州地区にて水力発電設備機器の販売及びサービスを中心に営業活動を行い、お客様にとって最適なソリューションを提供いたします。

株式会社三陽プラント建設

㈱三陽プラント建設は、八洲電機グループの一員となり2年目を迎えました。これからも、60年以上にわたり日立グループの据付・配線工事の設計・施工を担ってきた経験を活かし、「交通システム分野」をはじめ「変電設備」「鉄鋼・石油プラント」「公共施設」などにおいて、専門的な技術と習得したノウハウをもって、電気・機械設備工事の設計から施工までを展開し、総合技術力でお客様に確かな品質を提供してまいります。

また、八洲電機グループの施工を担う中核企業としてシナジーを最大限発揮することにより社会に貢献してまいります。

プラント事業

情報ソリューションにより安全管理の向上を可能にします。

プラント事業では、省エネ・高効率化、設備管理等、生産性を高めるソリューションの他、お客様のニーズに合わせた侵入監視や各種入構管理システム等によるセキュリティの向上、及び危険体験VRシステム等による作業員安全管理への支援も提供しております。
鹿島石油㈱様には入構管理システムをご採用頂き、大規模定期修理時、入構手続きの混雑緩和も実現できました。

導入事例のご紹介

鹿島石油株式会社様

定修時入構管理システムの導入に至る背景を教えてください。

当製油所は、JXTGグループの一員である鹿島石油㈱の主要拠点として、1970年に茨城県神栖市（鹿島臨海工業地帯）で操業を開始し、現在、約19.7万バレル/日の原油処理能力を有しています。4年に1度の定期修理では、約1カ月間すべてのプラント設備を停止し、大規模なメンテナンスを行います。その間、1日あたり協力会社の作業員約3,000人（定期修理期間中のべ97,000人）が出入りします。そのため、入構手続きによる車輌と人の混雑緩和は当製油所の抱える長年の課題でした。また、入構する人員情報の正確な把握は、工事費用管理のためにも必要でした。

本件における当社の対応へのご評価は？

従来より構内における電気設備のソリューション業務や、定修時の人数チェック業務を委託していた経緯から、2018年度の定修に向けた入構管理のシステム化について八洲電機さんに相談をし、情報ソリューションの提案をしていただきました。

今回導入したシステムの特長は、従来、通門証を守衛が確認していた通門手続きをシステム化したことにあります。これにより、協力会社の方々は乗車したまま通門証タグをハンディ型タグリーダーにかざすことで入構が可能となりこれまでの混雑状況が大幅に改善されました。導入に際しては作業車の車高・車長の影響を受けずに確実にタグ情報をいかに読みとれるかがポイントでしたが、アンテナの電界強度・方向等を工夫し、繰り返しテストを重ね課題をクリアしていただきました。従来、定修直前に行う約6,000人分の情報登録は大変な作業でしたが、システム導入により、入退時間や人数等、協力会社情報の一元管理が容易となりました。八洲電機さんからは常に多角的な提案を頂いておりますが、当社の要望を十分に理解して頂き、まさに一緒に創り上げたシステムとなりました。

鹿島石油株式会社 鹿島製油所
計装電気グループ アシスタントマネージャー　藤澤 圭介様

今後の当社への期待をお聞かせください。

当製油所は、その立地性を踏まえ、陸路及び海路からの不法侵入等に備える必要があり、セキュリティのさらなる強化は今後の課題です。今後も八洲電機さんには最先端技術を活用したシステム提案を期待しております。

産業・交通事業

外部からの侵入を強力に抑止し、安全・安心を確保監視用ネットワークカメラの最適ソリューションをご提案

産業界では、安全・防災・防犯及び情報セキュリティ等のリスク管理が重要な経営課題の一つとなっています。
日本ユピカ㈱様の案件では、湘南工場及び技術研究所への外部からの侵入を監視するカメラネットワークを導入いたしました。

導入事例のご紹介

日本ユピカ株式会社様

貴社の事業についてお聞かせください。

当社の主力製品である不飽和ポリエステル樹脂は、ガラス繊維や炭素繊維等の強化繊維と組み合わせた複合材料や塗料として、住宅設備、電気材料部品、電子・光学部品等の素材として幅広い分野にて活用されています。特に、人造大理石用樹脂、難燃性樹脂は、他社製品にない優れた性能との定評を得ています。さらには、炭素繊維で強化された複合材料は、軽量・高強度の特性を活かし、航空宇宙、自動車、工業分野へと、その用途を拡大しています。

今回の監視カメラ導入に至る経緯をお聞かせください。

当湘南工場は、美祢工場が不飽和ポリエステル樹脂の大型案件を取り扱うのに対して、比較的中小クラスの案件を取り扱っています。構内に併設された技術研究所では、顧客の新たなニーズ、用途に向けた製品開発を行っており、顧客の機密情報保護の観点から、防犯、情報セキュリティが課題となっていました。また、各種樹脂の製造過程において化学薬品等を扱っていますが、近隣住宅や施設の安全・安心、土壌や河川等の環境保護のため、当工場敷地内におけるセキュリティは重要テーマでした。

八洲電機さんには日頃から他社動向等の情報提供を頂いており、工場運営における各種課題の解決について、よき相談相手となって頂いています。今回の監視カメラ導入においても長年の経験と最新技術情報を駆使し、費用面も十分考慮の上、最適な監視カメラ機材、配置及び台数についてご提案頂き、外部侵入の抑止に寄与頂きました。

日本ユピカ株式会社
生産管理部 湘南工場 工場長　守屋 敏彦様

今後の八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

八洲電機さんとは、2014年に空調設備の更新工事をお願いしたのが最初です。それ以来、工場構内にて発生するいろいろな問題の「相談役」のような存在です。今後は、監視カメラの更なる強化をはじめに、当工場の様々な検討すべき課題に対して、いち早く最先端の情報を提供する、身近なビジネスパートナーとしてお付き合い頂けたらと思います。

産業・交通事業

24時間365日体制で駅設備を一元管理 安全・安心・快適を強力にバックアップする「SmartFAM」※を導入

交通事業では、主力の鉄道分野において、旅客・貨物輸送の基盤を支えるインフラの構築・整備を担い、お客様の多様なニーズに合った幅広い製品・システムを提供しています。東京地下鉄㈱様並びに㈱メトロステーションファシリティーズ様の案件では、駅設備の状況を見守り、お客様の安全・安心・快適を支える駅巡回点検業務支援システムに「SmartFAM」※を導入いたしました。

※「SmartFAM」は株式会社日立産業制御ソリューションズ様の登録商標です。

導入事例のご紹介

東京地下鉄株式会社様 株式会社メトロステーションファシリティーズ様

東京地下鉄株式会社
鉄道本部 営業部 施設課 統括事務係　齋藤 寛通様(左)

株式会社メトロステーションファシリティーズ
事業部 事業課 技術係　入学 寿様 (右)

㈱メトロステーションファシリティーズ(MSF)様の駅設備管理とはどのような業務でしょうか。

MSFは、他社に先駆けた取組みとして、東京メトロの各駅に点在する駅設備の管理情報及び駅構内にて日々発生する不具合情報を集約し、一元管理するため2017年4月に設立されました。MSF設立前までは、不具合対応について駅設備ごとに対応部署が異なっており、現場に大変負荷がかかっていました。そこでMSFに課せられた任務は、2017年7月までに24時間体制のコールセンターの設置と駅巡回点検業務支援システムの構築により、運営体制を確立するというものでした。

24時間体制の駅設備一元管理サービスの構築において、当社の役割をお聞かせください。

八洲電機様は、東京メトログループにおいて電気設備に関わるインフラ構築・整備・保守サービスの実績があり、また、MSF設立時より、駅設備の巡回点検業務の一部を委託しています。MSF設立後3ヶ月間という短期間でシステムを立ち上げなければなりませんでしたが、八洲電機様は、運用開始に間に合わせるためシステムエンジニアをMSFに常駐させ、逐次、巡回点検業務の現場から意見を吸い上げ、システム仕様に反映するなど、迅速に対応いただきました。その結果、システムを予定通り導入することができました。

今後の当社への期待をお聞かせください。

これまで、駅設備とコールセンター間のネットワーク構築と巡回点検業務の確立に注力し、その結果、駅員等現場から「不具合の応急処置対応の要請が電話一本で出来、大変便利となった」との評価を受けています。

現在は、巡回点検による不具合箇所の発見とコールセンターによる応急処置対応が主な業務ですが、今後は一段上を目指し、美観を維持し東京メトロをご利用になるお客様にとってより快適な空間となるよう、先手管理による「未然防止」をキーワードとして取組んでいきます。東京オリンピック・パラリンピックによる訪日外国人客等、利用されるお客様の増加を見込んでおり、八洲電機様には、引続き、最新技術をもって情報発信、ソリューション提案を頂き、システムの更なる改善にご協力をお願いいたします。

電子デバイス・
コンポーネント事業

長年培った高品質の開発力と提案力を強みに 国内シェアＮｏ.１のモバイルプリンターをサポート

八洲電子ソリューションズ㈱は、半導体応用技術を強みに電子業界特有のスピードに対応し、電子回路設計、ソフトウェアの開発から実装・量産に至るまで、ワンストップにてソリューションを提供しています。今回のセイコーインスツル㈱様の案件では、モバイルプリンターの主力製品に対して、お客様のニーズや諸条件を考慮しつつ、多種多様の製品群の中から最適なキーデバイスを提案し、ソフト開発を含めたトータルソリューションにより、高い価値創造に寄与いたしました。

導入事例のご紹介

セイコーインスツル株式会社様

セイコーインスツル株式会社
プリントシステム事業部　SCM推進部長　奥木 泰弘様

SIIブランドのモバイルプリンターについてお聞かせください。

セイコーインスツル(SII)の プリントシステム事業部は1982年に発足し、現在はサーマルプリンターのプリンターメカニズム及び完成品の開発、製造、販売を行っています。近年はPOSプリンター、業務用モバイルプリンターにおいてもSIIブランドが市場に浸透しています。当社のモバイルプリンターはレシート発券用ですが、スマートフォン等の決済端末が普及し、店舗、宅配業者、タクシー業者など多様な業界で活用され、昨年発売した超小型、超軽量のモバイルプリンターは国内で大変好評を得ています。

八洲電機グループとの取引実績についてお聞かせください。

当事業部は発足当初から35年以上にわたり、八洲電機さんから八洲電子ソリューションズさんとお取引し、プリンターの心臓部といえるマイコン、電子デバイス等を調達しています。超小型、超軽量のモバイルプリンターにおいても、購買の基本である品質、コスト、納期の3点を総合評価し、八洲電子ソリューションズさんから小型高性能なルネサス製マイコンを採用しました。2018年夏には世界的に電子デバイスの需要が高まり供給不足となるなか、弾力的かつ安定的にマイコンを納品いただいています。また、当社製品の開発段階から長期にわたり、レスポンスよく技術サポートを頂く点も信頼につながっています。

今後の八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

八洲電子ソリューションズさんには引続き、ルネサス製品をはじめとした半導体の最先端情報の提供と、現在の当社製品や製造環境において最適な電子デバイスのご提案、品質・コスト・納期において対応力に優れたサービスの提供をいただければと思います。また、2019年4月に新たに八洲情報システム㈱を設立されましたが、今後は当事業部製品を採用いただく可能性も含めて、当社と八洲電機グループとの協業が広がることを期待しています。

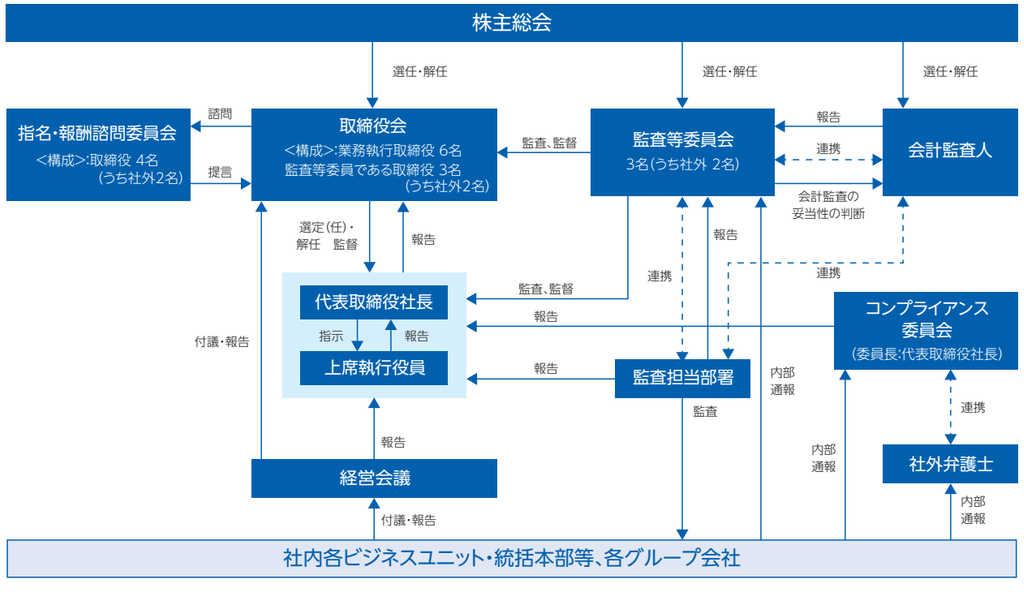
コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、八洲電機グループの持続的な成長と長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレート・ガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めております。
当社は、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制として権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視、評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取組んでいくために、2016年に監査等委員会設置会社に移行しました。

当社のコーポレート・ガバナンス体制の概要図

2019年4月1日現在



内部統制システムの整備と体制

業務執行を適正かつ健全に行うために、取締役会が実効性ある内部統制システムの構築と法令等遵守の体制を確立しています。また、監査等委員会は内部統制システムの有効性と機能を監査しています。

代表取締役である社長直轄で、業務執行部門から独立した「監査部」を本社内に設置し、グループ会社も含めて各部門に対して内部監査を実施し、内部統制の有効性を評価・確保しています。

内部監査は、代表取締役である社長の承認を得た年間計画に基づいて実施され、個々の内部監査の結果は、速やかに代表取締役である社長と監査等委員会に直接報告されるほか、取締役会や経営会議においても報告されます。また、監査結果や改善策等については、社内関係部門に情報共有されます。

輸出管理の体制及び取組み

当社は、継続的に輸出管理の強化、そして更なる改善を図るために代表取締役を最高責任者とする輸出管理体制を構築し、「安全保障輸出管理規程」を定め、「外国為替及び外国貿易法」などを含む法令に基づいた厳格な管理及びリスクに対する取引審査や出荷管理、入庫管理などを実施しています。その管理はグループ会社も対象としています。

また、当社及びグループ会社も含めて、適正な輸出取引や通関手続きを実施するため、輸出管理に関する研修等を実施し、コンプライアンスの徹底を図っています。

通報・相談窓口の整備

当社は、八洲電機グループの「行動規範」に反する行為があることを従業員が知り得た場合に、先ず上長に報告・相談することを基本としています。

しかし、このような報告・相談が難しい場合や適さない場合、問題等をより早期に発見し必要な対策を実施するために、八洲電機グループの共通窓口としてコンプライアンス担当部門、監査等委員会及び社外の法律事務所の合計3ヶ所に「ホットライン」を設置し、従業員が通報・相談しやすい環境を整備しております。

ホットラインへの通報・相談については、「内部通報規程」に従い、当該案件の関係者すべてのプライバシー保護に配慮した調査を行ったうえで、是正・勧告などの対応を行います。調査結果は、取締役会や経営会議に報告し問題の解決や再発防止につなげています。

なお、2018年度の八洲電機グループホットラインへの通報・相談の件数は、3件でした。

コンプライアンスの徹底に向けた啓発・教育

健全な企業活動を推進していくためには、法令や社内ルールを遵守するとともに、公正で自由な競争を行うことが求められています。

当社は、毎年、グループ会社を含めた従業員などを対象として、コンプライアンス研修を行っています。

2018年度からはコンプライアンス・ニュースをより読みやすくし、構成やデザインを全面的に刷新しました。

このほか、アンケートによる「コンプライアンス意識実態調査」の実施、新たにコンプライアンス標語の掲示(毎月2回)などの啓発活動に積極的に取組んでいます。

ダイバーシティ

「ダイバーシティ推進」について

当社の「ダイバーシティ推進」は、社員の数だけ多様性が存在することを受け入れながら一人ひとりの能力を最大限に発揮し、生産性の向上につなげていくことです。
新たな環境作りのため、これからも様々な施策・制度導入を推進してまいります。

当社独自の働き方改革　現在、当社は、働き方改革に取組んでいます！

働き方改革のすすめ

背景

少子高齢化の進行や労働力人口の減少に歯止めがかからないなか、政府は一億総活躍社会の実現を標榜しています。当社も全社員総活躍会社を目指し、性別・年齢・障害を越えた真のダイバーシティ実現に向け、多様な働き方を受け入れる体制作りに鋭意邁進中です。

なぜ「働き方改革」を行うのか？

目的

すべての社員が生活上のあらゆる制約を乗り越えて持てる力をフルに発揮し、存分にキャリアを追求できる会社となることです。社員の働く場所や働く時間を極力制限せず、各社員の都合に合わせた働き方の実現により、最大の成果をあげることを目的としています。

「働き方改革」はどうやってやるの？

八洲の現状

当社の「働き方改革」は、「支援環境の整備」と「意識・行動の変革」の2つで推進します。創立70周年記念事業の一環として実施した本社ビルの建替えを機にワークスタイル変革プロジェクトを発足した際には、「支援環境の整備」を重点的に取組み、現在は「意識・行動の変革」に対し、次の2つの施策に取組んでいます。

1 イクボス研修の実施

2 モニター社員によるフレックスタイム制度等の積極的活用

働き方改革の取組みと施策

ワークライフバランス
- 年末年始休日の拡大
- 一斉年休の拡大
- 積立有休制度の制定
- 育児休業早期繰上げ支援金の新設
- ジョブリターン制度の制定

環境整備
- シンクライアント、モバイルPC＋スマートフォンの支給
- フリーアドレスの導入
- サテライトオフィス利用認可

長時間労働の是正
- 全館20:30完全消灯実施
- 勤務間インターバル制度の導入

柔軟な働き方
- スーパーフレックスタイム制度の導入
- 時差出勤制度の制定
- 直行直帰奨励
- スポット在宅勤務制度の導入

キャリア形成
- 総合職への転換基準の改訂
- 総合職転換社員の基本給体系の改定
- 派遣等非正規社員の正社員登用
- 定年者雇用制度の処遇体系改訂

1 イクボス研修の実施

当社のイクボスの定義（右図参照）に基づき、組織の生産性を大幅に向上させるマネジメントスキルを学ぶ「イクボス研修」を2019年2月より、役員・管理職を対象に順次実施中です。

当社のイクボスの定義

①それぞれの部下が抱える隠れた制約要因を的確に見抜き
②多様で柔軟な働き方を積極的に選択させることで
③全部下の意欲と能力を最大限発揮させ
④組織成果の極大化を達成できる上司

2 モニター社員による フレックスタイム制度等の積極的活用

各部門からモニター社員を選抜し、モニター社員とその上長に対し、制度の理解と積極的な活用を促すため、詳細説明会を行いました。また、対象期間後にはアンケートを実施しました。

■実施時期　2018年7月より　■期間　4ヶ月

アンケートの結果は下記の通りです。

フレックスタイム制度を利用して、空いた時間をどのように活用し、その結果どうでしたか？

- ☑ いつも妻に任せていた子供の保育園の迎えを交代制にし、妻も子供も喜んでくれ、家族の絆が強まった。
- ☑ 趣味の映画を観に行き、リフレッシュできた。
- ☑ 資格取得の勉強をする時間にあて、予定通り学習できた。

モニター社員の上長として、部下に活用してもらうために、どのような工夫をされましたか？

■部下に積極的に活用するよう、常に声掛けをした。
■スケジュールを事前に立てて、積極的に活用するよう促した。

モニター社員の上長として、部下が活用してのメリットはいかがでしたか？

■自らスケジュールを立てて活用していた。
■仕事とプライベートの時間にメリハリをつけていた。
■共働き世帯では、夫婦とも有効活用し、育児も仕事も頑張っていた。

制度の理解と活用推進を引き続き図るとともに、現在、モニター第2弾を計画中です！

『健康経営宣言』について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策などの各種施策に取組んでまいりました。
より一層この取組みを強化するとともに「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、「健康経営宣言」を制定し、以下の『重点施策』に取組んでまいります。

『健康経営宣言』

当社は、「社会に信用・信頼される会社」「社会に奉仕する会社」「社会に協力・協調する会社」(「信・愛・和」)を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティーの高いサービスを通じお客様とともに価値を創造するベストプランナーとして環境配慮型社会に貢献する」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くということが、重要な経営課題であるととらえています。

従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言します。

『重点施策』

からだの健康

- ●運動機会の増進　2018年実績　職場スポーツ大会費用補助制度を新設、八洲スポーツ同好会活動を支援
- ●喫煙者の減少　2018年実績　全社紙巻たばこの禁止

職場の健康

	2017年実績	2018年実績	2019年予想
●所定時間外労働時間の更なる減少	236時間／年	213時間／年	200時間／年
●有給休暇取得率の更なる向上	53.90%	58.93%	64.00%

こころの健康

●産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進

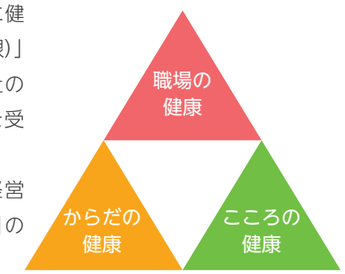
(延べ人数)

2017年実績	2018年実績	2019年予想
44人	62人	60人

『取組みの結果について』

健康経営に積極的に取組んだ結果、2018年10月に健康保険組合連合会東京連合会より「健康優良企業(銀)」の認定を受けました。(2018年8月にグループ会社の㈱三陽プラント建設も「健康優良企業(銀)」の認定を受けました。)

また、2019年2月には、経済産業省より「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)～ホワイト500～」の認定を受けました。



健康優良企業「銀」の認定ロゴマーク

健康経営優良法人の認定ロゴマーク

CO_2排出抑制貢献量の実績と計画

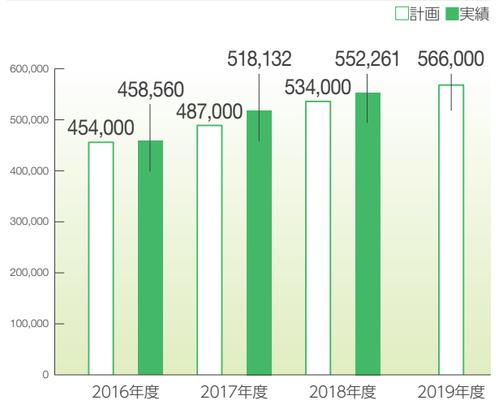
2019年度 CO_2排出抑制貢献量

566,000トン(目標)

この目標は、お客様に納入する機器製品、システム製品のCO_2排出量を、基準年(2005年度)に比べ、2019年度には566,000トンを抑制するというものです。2018年度の実績は552,261トン(目標に対して103%)となりました。

目標達成に向け環境適合製品の開発及び新規認定を積極的に推進し、CO_2排出抑制量の貢献に努めてまいります。

CO_2排出抑制貢献量推移(単位:トン/年)



- ●CO_2排出原単位は「環境省」発表の数値を適用
- ●年度は毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

環境会計

2018年度　環境保全コスト

分類		取組み内容	費用額(千円)
事業エリア内コスト	公害防止コスト	汚水槽の維持管理	633
	地球環境保全コスト	空調機の保全	13,737
	資源循環コスト	廃棄物処理委託 紙類リサイクル 雨水の管理・保守	38,321
		小計	52,691
上・下流コスト		グリーン購入	4,247
管理活動コスト		環境ISO活動 環境教育 環境広告	4,765
社会活動コスト		環境保全に対する寄付	367
		合計	62,070

※ 集計範囲　八洲電機

2018年度 活動報告

八洲電機グループでは、1年間を通じて様々な活動を行っております。

2018 6月

一般社団法人広島県管工事業協会主催

広島地区地域清掃活動

当社中国支店では、毎年一般社団法人広島県管工事業協会主催の地域清掃活動に参加しております。2018年度は、6月16日に平和大通り南北緑地帯で行われ10名が参加しました。

2018 7月 9月　2019 3月

東京都港区芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会主催

「路上喫煙ゼロのまち！キャンペーン」

当社は、本社所在地である東京都港区主催の環境美化・保全活動「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち！～」に2010年度から毎年参加し、2018年度は7月13日、9月14日、3月14日に延べ113名が参加しました。港区を更に「住みよいまち」にするための活動を行っています。

2018 11月

京都市まちの美化推進事業団主催

京都地区地域清掃活動

八洲電子ソリューションズ㈱は、京都市まちの美化推進事業団主催の「京都・まち美化大作戦」清掃活動に参加しております。2018年度は11月4日に京都市市街地周辺で行われ、家族とともに9名が参加しました。

日立青葉会主催

地域清掃活動

当社東北営業所では、毎年東北地区の日立グループ各社が合同で主催の地域清掃活動に参加しております。2018年度は、11月10日に仙台市青葉区内で行われ2名が参加しました。

大阪市環境局主催

大阪マラソン“クリーンUP”作戦

当社関西支店、八洲産機システム㈱、八洲電子ソリューションズ㈱は、2018年11月21日に大阪市環境局主催「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」清掃ボランティア活動に26名が参加しました。

2018 7月

2018年7月豪雨災害への支援

八洲電機グループ（当社、八洲ファシリティサービス㈱、八洲産機システム㈱、八洲電子ソリューションズ㈱）は、2018年7月の豪雨災害に被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願い、被災地への支援として日本赤十字社を通じて義援金300万円を寄付しました。

2018 8月

広島県公衆衛生推進協議会主催

平和記念公園一斉清掃ボランティア

当社中国支店、八洲産機システム㈱、㈱中国パワーシステムは、2018年8月1日に原爆の日（8月6日）を前に行われる平和記念公園一斉清掃ボランティア活動に26名が参加しました。

広島県呉市、竹原市

災害復興支援

当社中国支店は、2018年7月に発生した豪雨災害に際し、下水道施設の復旧活動の貢献に対し、呉市上下水道事業管理者様より2018年8月30日に感謝状を授与されました。

また、飲料水の寄付に対し竹原市様より感謝の意として竹原市ホームページに公表されました。

感謝状

2019 3月

『八洲環境技術振興財団　5年間で助成総額1億円！』

～第5回助成金贈呈式にて、今年も全国の国公立・私立大学及び高等専門学校の研究者25名に助成～

2014年度より開始した当財団の環境技術分野における研究開発・調査に対する助成、並びに国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成において、2018年度の助成金を支給した結果、5年間で総額1億円（1億644万円）に達しました。今後も地球環境技術分野に取組む次世代研究者を育成支援し、豊かな社会の実現と産業の発展に寄与してまいります。

また、2019年3月7日には受賞者、財団関係者ら約60名の出席のもと第5回の贈呈式を開催。選考委員会による選考を経て、応募83件から25件の助成先を決定し、受賞者に助成金（1件100万円）を贈呈いたしました。同時に、2016年度受賞者のなかから選出した2名に八洲奨励賞が贈られ、研究活動の成果が発表されました。

国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成については7件の助成（1件20万円）をしております。